

ごあいさつ



第75回岩手芸術祭実行委員会
一般社団法人岩手県芸術文化協会

会 長 柴 田 和 子

芸術の秋を彩る岩手芸術祭が開幕いたしました。

岩手芸術祭は、昭和22年に、全国に先駆けて第1回が開催されて以来、これまで回を重ね、今年度は第75回目の節目の開催を迎えることとなりました。

これもひとえに県民の皆様の御理解、御支援の賜と深く感謝申し上げます。

昨年、一昨年の岩手芸術祭は、新型コロナウイルスの影響により、中止や延期を余儀なくされる公演等もありましたが、今年度の岩手芸術祭は、万全の感染症対策を講じ、ほぼ全ての美術展、舞台公演、文芸祭などを県内各地で開催することとしております。

ぜひ、この機会に、多くの方々に岩手の文化芸術に触れていただければ幸いです。

岩手芸術祭の開幕を飾る今年度の総合フェスティバルは、「平和」と「継承・創造」をテーマに、75回目の岩手芸術祭と岩手県政150年をお祝いしたプログラムで構成し、ジュニア世代と本県出身のアーティストとの共演、合唱、ダンス、郷土芸能、民謡、声楽など、幅広い分野の多彩なステージが繰り広げられます。

どうか、最後までごゆっくりご鑑賞頂き、温かい声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催にあたり、御尽力くださいました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

岩手芸術祭総合 フェスティバル



主 催

岩手県 岩手県芸術文化協会 岩手県文化振興事業団 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手



後 援

盛岡市 NHK盛岡放送局



協 力

記録撮影 岩手県写真連盟



企 画

岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会

構成・演出……………大森 健一(岩手県演劇協会)

演出補佐……………大沼 まゆみ(岩手県洋舞協会)

民俗芸能コーディネーター…藤沢 清美(岩手県民謡協会)

合唱コーディネーター…………村松 玲子(岩手県合唱連盟)

及川 尚樹(岩手県合唱連盟)

美術コーディネーター…………小笠原 卓雄(岩手芸術祭美術展現代美術部門)

舞台監督……………近藤 英一



問い合わせ先

一般社団法人岩手県芸術文化協会 TEL▶019-626-1202

QRコードからアクセスすると、公演のライブ配信をスマートフォン等でご覧になれます。



- ☐発熱や咳などの症状がある場合は、ご来場をご遠慮ください。
- ☐ご来場の際はマスクを着用し、咳エチケットの徹底をお願いいたします。
- ☐入場時に体温測定を行います。

- 携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えてください。
- 主催者の許可のない撮影・録音は禁止させて頂いております。
- 大ホール客席での飲食は禁止となります。

IWATE ART FESTIVAL GENERAL FESTIVAL

岩手芸術祭総合フェスティバル

デザイン/佐々木海太郎

2022



共に創る
そして生まれる
岩手の芸術
みんなの笑顔

75th ANNIVERSARY



岩手県政
150周年
記念事業

岩手芸術祭

IWATE ART FESTIVAL GENERAL FESTIVAL

総合フェスティバル

令和4年 10月1日(土) 岩手県民会館大ホール
開場▶12:35 開演▶13:00

プログラム

司会：甲斐谷 望（IBC岩手放送アナウンサー）

テーマ：継承・創造・平和　ー祝って、いわてー

ー 第 1 部 ー

▼ 「合唱」 岩手県立不来方高等学校音楽部

(1) 曲 目／「さとうきび畑」 寺島 尚彦 作詞／作曲／編曲
ざわわ　ざわわ　ざわわ　さとうきびの葉のこすれる音、海の波の音、風の音、心の騒ぐ音　66回のざわわ。1945年、今から77年前、日本で唯一の地上戦となった沖縄で、戦争で死んでしまったお父さんを捜す少女を描いた反戦歌。

(2) 出演者／岩手県立不来方高等学校音楽部
全日本合唱コンクール全国大会27回出場（金賞21回、うち文部科学大臣賞7回受賞）。2003年、イラク戦争で海外公演に行けなかった時から20年間、平和を祈って先輩から歌い継がれてきました。今年は沖縄の本土返還50年ということもあり、思いを新たに取り組みました。今日も平和への祈りを込めて歌います。
◆指　揮／村松 玲子

▼ 「クラシックバレエ」 藤原めい子バレエ教室／岩手県洋舞協会

(1) 演 目／「ドリーブ曲　コッペリアより　戦いと平和」
人生を表しているコッペリアの「鐘の広場」の楽曲より、今、私達が直面している「戦い」そして平安の象徴の「白い鳩」へ、祈りを込めて「平和」を踊ります。

(2) 出演者／
◆戦い：千葉 桃子　岡田 華音　司東 桃佳　高橋 カンナ
藤原 琉聖
◆平和：木村 祥子　新田 詠美　齊藤 尚子　村山 香織

▼ 国指定重要無形民俗文化財 鵜鳥神楽「恵比寿舞」 鵜鳥神楽保存会

(1) 演 目／「恵比寿舞」
鵜鳥神楽は、普代村の鵜鳥神社の神霊を移した獅子頭を権隈様として、北廻り（久慈市まで）、南廻り（金石市まで）と称して、一年交代で三陸沿岸の村々を約2ヶ月間かけて巡行しており、清祇・山の神・恵比寿舞など10演目程度を演じています。霞を超えて廻り神楽という形態を継続している、全国的にも極めて稀有な神楽であり、国重要無形民俗文化財に指定されております。「恵比寿舞」は、恵比寿様が鯛を釣りあげるまでの所作を演ずるユーモラスで、商売繁盛・大漁を祈願する舞です。

(2) 出演者／鵜鳥神楽保存会

▼ 「ヒップホップダンス」 水沢スポーツクラブ

(1) 演 目／「水沢スポーツクラブ Hip Hopキッズダンス」

(2) 出演者／仙北教室 12名・盛岡教室 8名
水沢スポーツクラブはエイベックスダンスマスタープログラムを導入し、各教室で個性豊かにみんな楽しく練習しています。水沢スポーツクラブキッズヒップホップダンスを2ナンバー続けて披露させていただきます。学校生活とダンス練習をどちらも頑張っている仲間たちです。夢に向かって頑張っている子供達に温かい声援をお願いいたします。

▼ 民謡「津軽よされ節」「松づくし」 岩手県民謡協会

演 目／「津軽よされ節」
青森県民謡、黒石よされが津軽に入って西津軽郡加瀬村の黒川桃太郎が口説き節に編曲。それが津軽の芸人たちによって芸を競ううちに高度な技巧的となり、三味線奏法の高度化と共に「津軽三つもの」の一曲として位置するまでになったものです。

出演者
◆三味線：藤沢 悠生（高校2年　令和4年度第40回記念津軽三味線世界大会　ユースC級　優勝）
七戸 実乗（師匠）
◆民　舞：八重樫 潮（高校1年　令和元年度（一財）日本郷土民謡協会全国大会　民舞個人の部　優勝）
八重樫 いね華（師匠）
◆唄　　：菊池 ひろみ（昭和56年（公財）日本民謡協会全国大会内閣総理大臣賞受賞）
◆太　鼓：三上 紀子

演 目／「松づくし」
江戸時代前期、松山藩（愛媛県）で年頭を祝って万歳を演じたのが始まり。伊予万歳の「松山名所尽くし」が源流。天保年間（1830～1844）に人形浄瑠璃や芝居の影響で万歳が舞踊化し、以後次第に芸術化して今日にいたっています。

出演者
◆民　舞：岩手もりおか会
山本 樹　館澤 董　佐々木 未来　福士 心菜
下澤田 葵　山本 若奈
◆唄　　：三上 紀子（平成26年度（一財）日本郷土民謡協会全国大会　内閣総理大臣賞受賞）
◆三味線：佐藤 竜雅（大学4年）
◆横　笛：藤沢 東清（岩手県民謡協会 会長）
◆太　鼓：菊池 ひろみ

ー 第 2 部 ー

▼ 式典「感謝のセレモニー」

長年、芸術文化に尽力されてきた方々への感謝。

(1) 受賞者の紹介と感謝状贈呈
(2) 「芸術祭テーマ」優秀賞表彰
(3) 主催者挨拶 岩手芸術祭実行委員会 会長 柴田 和子
(4) 挨拶 岩手県知事 達増 拓也

感謝状受賞のみなさん

<美術部門>
■洋画部門／佐賀 勝美さん　■書道部門／津志田 沙苑さん
■写真部門／菊池 克美さん
<舞台等部门>
■華道部門／柴内 千雅さん　■合唱部門／鈴木 靖子さん
■民謡部門／及川 祐子さん
<文芸部門>
■児童文学／齋藤 英明さん　■短歌部門／岡田 紘子さん
■俳句部門／白濱 一羊さん

芸術祭テーマ優秀作品

「共に創る　岩手の芸術　そして生まれる　みんなの笑顔」
作者 佐藤 遙音さん（奥州市）

ー 第 3 部 ー

▼ 声楽「三重唱」 岩手声楽研究会

(1) 曲 目／「啄木短歌集」石川啄木 歌作 高田 三郎 作曲
Ⅰ やわらかに Ⅱ 頬につとう Ⅴ 不來方の
Ⅶ はずれまで Ⅷ あめつちに

(2) 出演者／岩手声楽研究会
◆三重唱：小坂 博　昆野 聡朗　丸岡 千奈美
◆ピアノ伴奏：斎藤 久美子
コロナ禍で3年ぶりの活動を再開している岩手声楽研究会。公演では、岩手県政150年にちなみ、岩手県出身の歌人で、今年没後110年となる石川啄木の短歌集より5曲を演奏します。

▼ 〈特別企画〉佐藤彦大とジュニアオーケストラの共演 佐藤彦大・スプリングハーモニージュニアオーケストラ他

(1) 曲 目／ベートーベン ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」第1楽章

(2) 出演者
◆ピアノ／佐藤 彦大
岩手県出身のピアニスト。第5回サン・ニコラ・ディ・バリー国際ピアノコンクール第1位。F.リスト2011特別賞・批評家賞受賞（イタリア）。2015年第21回リカルド・ビニェス国際ピアノコンクール第2位（スペイン）。2015年第36回霧島国際音楽祭受賞。2016年第62回マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクール第1位。2020年（令和元年度）岩手県文化スポーツ表彰受賞（文化分野）。
◆指　揮／板垣 あや子
◆出演者／岩手県弦楽研究会スプリングハーモニージュニアオーケストラ
松見ヴァイオリン教室 阿部チェロ教室 県内演奏者等
◆ヴァイオリン：阿部 大蒔 野村 真紀人 金杉 果音 熊谷 咲希
三浦 悠 田口 陽大 大沢 陽 佐藤 雛歌 熊谷 圭祐
玉澤 日咲子 大崎 太郎 大崎 かれん 高橋 日菜子
岩淵 莉奈 野村 妃奈子 村上 怜央 小澤 綾
佐藤 素子 高橋 洋子 米倉 久美 畠山 亜希子
渡辺 めぐみ 大森 響生 田口 博子
◆ビオラ：菊池 昭子 松見 雅子 玉木 光子 伊藤 千鶴子 武田 利都子
◆チェロ：三浦 明子 坂水 由佳 大澤 曜子 千葉 久美子 斉藤 葉子
岩淵 まり絵
◆コントラバス：寺山 貴広 崎山 誠
◆ティンパニー：熊谷 綾子
◆フルート：浅瀬石 育吹 中村 日美
◆オーボエ：今野 奏 今野 朋枝
◆クラリネット：酒井 瑞季 児玉 柚美
◆ファゴット：高橋 一明 渡辺 律
◆ホルン：佐々木 美波 梶山 胡桃
◆トランペット：関 繁人 藤井 裕子

岩手芸術祭の75回目の節目の開催において、県内のジュニア世代が、岩手県出身の著名なアーティストの方と交流する特別企画。ジュニアオーケストラと本県出身のピアニスト佐藤彦大さんとの共演。著名なピアニストとの初めての共演の機会を楽しみに元氣いっぱい練習に励んできたジュニアオーケストラが県内演奏者などの方々のご協力をいただいで一生懸命に演奏します。温かい応援をお願いいたします。

▼ フィナーレ 「合唱」 岩手県立不来方高等学校音楽部

(1) 曲 目／「くちびるに歌を」
ツェーザー・フライシュレン 詩 信長 貴富 訳詞／作曲

(2) 出演者／岩手県立不来方高等学校音楽部
新型コロナウイルス感染拡大により、歌うことの許されなかった3年間、暗闇の中で、希望の光はやはり歌声でした。「くちびるに歌を」の「歌」は希望を意味しています。まだなかなかマスクをはずして歌えませんが、歌声の灯、文化の灯を消さないでいきたいと思います。「嵐が吹こうと　吹雪が来ようと　地上が争いに満たされようと　くちびるに歌を持って」という歌詞に心を込めて歌います。
◆ピアノ伴奏／佐藤 由梨
◆指　揮／村松 玲子

*本日の総合フェスティバルの模様は11月23日（水・祝）午後1時55分よりIBC岩手放送でテレビ放映の予定です。